

G E O G R A M S



社名 : ジオグラムス株式会社

代表者 : 伊藤 広大

会社設立 : 2020年3月

資本金 : 6,000,000円

取引金融機関: 三菱UFJ銀行 新橋支店

所在地:

・東京事務所: 東京都港区 虎ノ門1丁目1-12 虎ノ門ビル802

・北海道拠点: 北海道勇払郡厚真町 新町116-2

事業内容

1. テレビ、インターネット、スマートフォン等を利用した各種コンテンツの企画、制作
2. CD、ビデオ、DVDその他映像ソフトの企画、制作、編集
3. インターネットによる情報処理サービス及び情報提供サービス業
4. 広告代理業及び通信販売業
5. 産業用無人機に関する引用、保守及びコンサルティング、技術指導、人材育成
6. 映像に関する知的財産権の利用の開発及び許諾、管理
7. 各種イベント、キャンペーン及び展示会の企画及び運用、サポート



映像作家・ディレクター

伊藤 広大 いとう ひろき

北海道幌延町出身。国内大学卒業後に渡韓・渡中し、外資IT企業の現地法人にて日中韓三カ国に跨るITプロダクトのPMとして多様なプロジェクトに従事。帰国後は同社日本法人のブランドマネージャを務め、2020年にジオグラムス株式会社を創業しました。

国際的なIT/PMキャリアで培ったデジタルスキルとマーケティング視点を映像制作と融合させた独自アプローチが得意。観光映像からMICE招致広告まで幅広く対応できる総合力が強みです。

主要業務実績

札幌市 MICE招致広告 / 小樽市・与論町 観光プロモーション広告 ほか
行政広告、観光映像、企業ブランディングなど

主な受賞実績

日本国際観光映像祭 2026 日本部門グランプリ 他2部門金賞
にっぽんど真ん中祭り 2023 映像部門 大賞 / 地方創生大臣賞
札幌国際短編映画祭 2019, 2022 最優秀撮影賞、作曲賞、北海道監督賞
SSFF & ASIA BRANDED SHORTS 2023 観光映像大賞ファイナリスト

テクノロジーにできないことのために、 テクノロジーを使う。

WE USE TECHNOLOGY TO MAKE ROOM FOR WHAT ONLY HUMANS CAN DO.

変わらぬ本質に届くために、新しさを取り込み続けること。

AIを始めとするデジタル技術は、多くの人員、才能、期間、予算を前提としてきた制作の構造を根本から変えつつあり
私たちはその最前線に立ちます。

けれど、それは弊社の目的ではありません。

瞬間を待つ忍耐。土地の記憶に耳を澄ます時間。被写体と向き合う対話。技術がどれほど進化しても、人の心を動かすものは、変わりません。

流行を尽くすのは、不易に届くため。

構造の革新が生んだ余白のすべてを、変わらざる価値に注ぎ込む。だからこそ私たちは、限られた予算と時間の中でも、心を動かす一本をお届けできます。

「下沼」と「問寒別」、それぞれの持つ記憶

最も異なるのは、交流人口が産んだストーリーが存在すること。

これまでのコミュニティ活動によって育まれた蓄積が存在すること。

具体的には秘境駅に綴られ続ける「駅ノート」に残された記述。

あるいはこれまでの活動によって言語化された、住人たちが持つ問寒別の記憶。

問寒別には「**実在する感情の痕跡**」が存在する。

企画コンセプト：『問寒別へ』

AIショートアニメーションを通じて、持続的な関係人口の基盤を構築する

Series 『問寒別へ』

月数本、継続配信される「Instagram向け」のショートアニメーション・シリーズ。

生成AIを用いた、新しい市民参加型の取り組み

AXIS 01 / 02

みなさんの「思い出」を脚本に

駅ノートに残された「来訪者の記憶」とともに、
「みなさんの思い出」をストーリーに

AIアニメーションを用いる事で、ドキュメンタリーの
持つ課題を超えたストーリーを、幌延から発信します。

AXIS 02 / 02

「AI声優」としてのプロジェクト参加

「AIボイスクローン」技術を用い、
みなさんの声を使ってキャラクター音声を作ります。
AIによって実現出来る、「自分たちの町の物語を
自分たちで届ける」という地域初の試みを、
幌延とともに実現します。

生成AI活用の4領域

【下沼】で実証し、今回も用いる手法

01

TEXT ANALYSIS

駅ノート記述内容の解析

INPUT

駅ノート画像、
テキスト

PURPOSE

要約・感情分析、テー
マ抽出

OUTPUT

脚本素案、
キーワード群

02

VOICE ANALYSIS

住民ヒアリング音声の解析

INPUT

音声・書き起こし

PURPOSE

重要フレーズ抽出、年
代/出来事の紐付け

OUTPUT

ナレーション素案、
時系列メモ

これから【問寒別】でやること

03

VOICE CLONING

住民音声のAIボイスクローン作成

INPUT

許諾取得済みの音声デ
ータ

PURPOSE

キャラクター別の安定
的な声の生成

OUTPUT

各キャラの音声アセッ
ト（6名以上）

04

VIDEO GENERATION

AIショートアニメーション生成

INPUT

実写ロケ素材・リファ
レンス・脚本

PURPOSE

実写→アニメ調変換＋
シーン生成

OUTPUT

30-60秒の縦型動画（
Reels最適化）



演出意図 / 動き

雪原を横切る少女の後ろ姿を追う。ソリに積まれた3つのポリタンクが画面右から左へ移動し、奥に下沼駅舎が見える。轍の跡が何度も往復した日常を物語る。白い吐息で冬の冷たさを強調。

カメラ / レンズ

ドリーフォロー／35mm相当やや広角／子供の目線より少し低め

音響

ソリのさし声、雪を踏む音、弱い風

制作メモ

キャラクター造形、衣装色、雪景色、下沼駅舎、黄色い案内板、赤いソリと黄色ポリタンクの関係を維持。水しぶきと濡れた衣服は過度にリアルにせず。3D

駅ノートに残された関係人口の記録、
地域の記憶に残ったストーリーを
脚本化していきます



演出意図 / 動き

霜で覆われた蛇口を正面やや上から捉える。少女は両手で蛇口をぐいぐいと回すが動かず、先端をのぞき込む。困惑よりも、いつもの面倒に近い表情。金属の冷たさと霜のざらつきを見せる。

カメラ/レンズ

フィックス/50mm標準/蛇口と手元を中心に構成

音響

蛇口を回す硬い音、手袋が擦れる音

制作メモ

キャラクター造形、衣装色、雪景色、下沼駅舎、黄色い案内板、赤いソリと黄色ポリタンクの関係性を維持。水しぶきと濡れた衣服は過度にリアルにせず、3D CGアニメ調の質感で統一。

実景撮影×AIアニメーションで作る

新しい観光映像の取り組み



演出意図 / 動き

少女が蛇口や木柱を叩くと、ホースの根本から水が噴水のように噴き出し、顔と胸を直撃する。直射日光が水しぶきを透過し、虹色の光彩が一瞬見える。可憐しみのピーク。

カメラ/レンズ

フィックス / 35mm 相当やや広角 / 水の噴出を全体で捉える

音響

水が噴き出す音、少女の短い「あっ！」

制作メモ

キャラクター造形、衣装色、雪景色、下沼の水、黄色い葺内板、赤いソリと黄色ポリタンクの関係を維持。水しぶきと濡れた衣服は過度にリアルにせず、3D CGアニメ調の質感で統一。

正確な描写のためにも、
みなさんのご協力が必要です

誰もいないホームに降り立つ。
冬なら、すべてが白に沈んで
自分の吐く息と、雪の音だけが世界のすべて。

取り繕う必要のない時間
誰にも説明しなくていい感情
それは、自分自身と再会するための旅。

問寒別には何もない。

けれど、誰かの想いはたしかに降り立っている。
誰かがここで暮らし、誰かがここで歳を重ねている。
その当たり前の営みが、なぜかとても眩しく映る。

ここは、そういう場所だと思う。

誰かが残した記憶が、
誰かの旅の始まりになる。

問寒別という土地が編んできた、人と土地との関係性の連鎖を描きます。

問寒別へ



このアニメーションの元になったストーリーは、
糠南駅の駅ノートに有った次の書き込み。

「めっちゃでかいクモが居た」

【この書き込みを見て考えたストーリー】

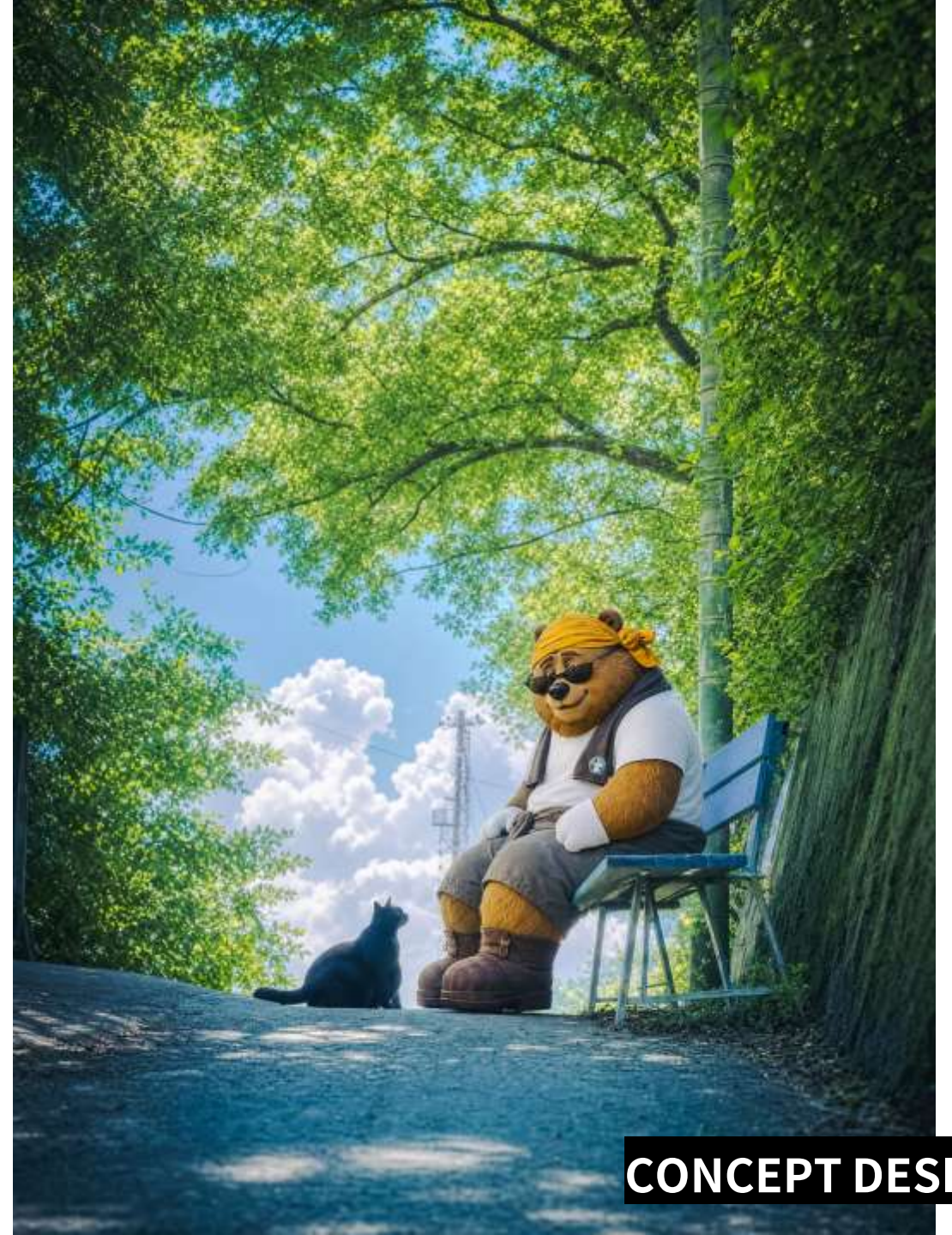
雨の降る問寒別の午後。集落に住むうさぎの少女は、傘をさして糠南駅へやって来た。
列車の時刻まで少し間があり、降り続ける雨をしのぐと駅舎脇の古びた物置のドアに手をかける。

ところがドアを引き開けた瞬間、目の前に小さなクモがぬっと姿を現した。
少女は声も出しながら後ろへ飛びのき、濡れたホームにぺたりと尻餅をついてしまう。
その拍子に傘は手を離れて転がり、雨は容赦なく少女の頭に、肩に、体に降り注いで、
あっという間にずぶ濡れにしてしまった。





CONCEPT DESIGN



CONCEPT DESIGN

